

景気のコ入れ（２）

田中 修

はじめに

李克強総理は 6 月 24 日、国務院常務会議を開催し、10 日・17 日に続いて景気コ入れ策を打ち出した。本稿では、その概要を紹介する。

（１）「インターネット＋」

インターネットと各業種を深く融合させることは、大衆による起業・万人によるイノベーション、経済発展の新たな動力エネルギーの形成を加速することにとって、意義は重大である。「政府活動報告」の要求に基づき、『「インターネット＋」行動計画』を承認し、「インターネット＋」を推進し、起業・イノベーション、協同製造、現代農業、インテリジェントエネルギー、インクルーシブ・ファイナンス、公共サービス、効率の高い物流、電子ビジネス、宅配、グリーン生態、人工知能等新産業モデルを形成できる重点分野の発展を促進する目標任務を確定し、かつ関連支援措置を確定した。

- ① 「インターネット＋」の発展を阻む不合理な制度・政策を整理し、これと融合した商品・サービス市場への参入を緩和し、起業・イノベーションを促進することにより、産業の融合発展のために広範な空間をもたせる。
- ② 「インターネット＋」を支え保障する新たなハードウェアプロジェクトを実施し、新世代情報インフラ建設を強化し、コアとなるチップ、ハイエンドサービス機器等の研究開発とクラウドコンピューティング、ビッグデータ等の応用を加速する。
- ③ 「インターネット＋」を開放・共有するプラットフォームを構築し、公共サービスを強化し、政務等の公共データの開放・利用テストを展開し、国家のイノベーションプラットフォームが企業とりわけ中小企業に向けてオンライン開放することを奨励する。
- ④ 「インターネット＋」の特徴に適応し、政府部門調達へのクラウドコンピューティングサービスを強化し、貸出商品・サービスを刷新し、株主の一般募集等のテストを展開し、インターネット企業の上場を支援する。
- ⑤ 安全・規範化を重視し、リスクモニタリングを強化し、市場の監督管理・社会の管理を整備し、インターネット・情報の安全を保障し、公平な競争を保護する。

「インターネット＋」を用いて、経済が中高速成長を維持し、ミドル・ハイエンド水準へと邁進することを助け推進する。

(2) 社会保険料の引下げ

社会保険料を適切に引き下げることが、企業の負担を軽減させるための、方向を定めたコントロールの重要措置であり、安定成長・雇用促進に資するものである。

失業保険料を既に引き下げた基礎の上に、10月1日から、労災保険の平均保険料率を1%から0.75%に引き下げ、業種のリスクの程度に応じて基準保険料率のランクを細分化し、労災の発生率に応じて単位（企業）に対し保険料率を上下に適切に調整する。

生育保険料率を「1%を超えない」から「0.5%を超えない」に引き下げる。

労災保険・生育保険基金が合理的な残高を超えている地方は、保険料率を引き下げなければならない。

上述の政策を実施すれば、毎年企業の負担を約270億元軽減できるものと予想される。

(3) 商業保険資金の運用

商業保険資金の運用方式の改革は、国家の重大戦略と市場の需要をリンクさせるものであり、保険業のイノベーション・効率向上に資するものであり、社会の有効な投資を牽引できるようになり、実体経済の発展を支援するものでもある。

市場化・専門化による運用とビジネスが持続可能という原則に基づき、中国保険基金を設立する。基金は有限パートナー制を採用し、規模は3000億元とし、主として保険機関から募集し、株式・債券方式による直接投資あるいは親基金として内外の各種投資基金への投入を展開する。主たる投資先は、バラック地区改造、都市インフラ、重大水利プロジェクト、中西部交通施設等の建設、及び「シルクロード経済ベルト、21世紀海のシルクロード」と国際的な生産能力協力の重大プロジェクト等である。

長期に安定した資金を用いて、公共財・サービスの経済への新たな牽引力を作り上げることを支援する。

(4) 「商業銀行法」の改正

「商業銀行改正案」を承認した。草案では、国際経験を参考に、貸出残高と預金残高の比率が75%を超えないこととする規定を削除し、預貸比率を法定監督管理指標から流動性モニタリング指標に転換した。

これは、金融の伝達メカニズムを整備、金融機関が「三農」、小型・零細企業等への貸出を拡大する能力を増強することに資するものである。草案を全人代常務委員会の審議にかける。

(6月25日記)